

## 工業技術研究所の沿革

- 明治39年3月 「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
- 大正2年12月 「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
- 大正4年9月 「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
- 大正8年 「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
- 大正8年12月 「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
- 大正9年2月 「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
- 昭和12年11月 「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
- 昭和27年4月 「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
- 昭和28年1月 「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
- 昭和32年4月 「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
- 昭和36年4月 「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
- 昭和36年6月 「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
- 昭和38年1月 「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」に改称
- 昭和38年12月 「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（現富士市伝法）に移転
- 昭和42年6月 「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所
- 昭和57年11月 「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
- 昭和59年4月 「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
- 平成2年4月 「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称  
「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
- 平成3年4月 「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称  
「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
- 平成19年4月 「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と改称